

# 今、いちばん気になる統計は？

## 製造業PMI

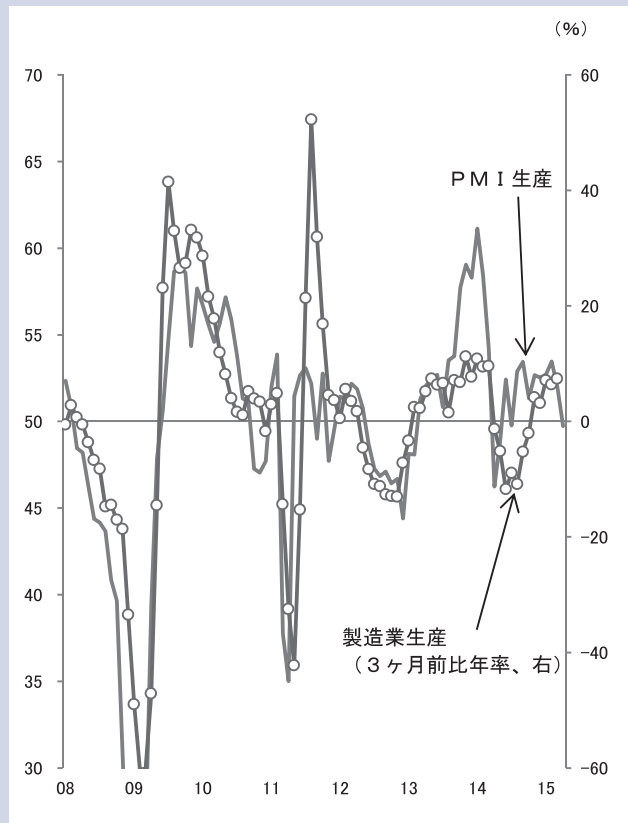
PMI(Purchasing Manager Index)とは英マークイット(Markit)が作成する指標で先進国・新興国を問わず、多くの国において毎月、統一的手法で作成・公表される。速報性に優れているほか、国同士の比較も容易であるという特徴を持つため、市場関係者のみならず、政策当局者にも重宝されている。

PMIは製造業とサービス業の2つが発表されるが、注目は毎月23日頃に発表される製造業PMI。生産高、新規受注、雇用など各質問項目に対して企業が自社の実績を(前月から)「増加」・「変化なし」・「悪化」の3択で回答。項目ごとに指数化したものを合成し、それが50を上回ると好況の目安とされる。

実際にPMIとGDPを比べると(大半の国で)一定の相関が認められるほか、それらを構成する生産や輸出統計との連動性も強い。政府統計が作成まで1ヶ月程度の時間を要するのに対してPMIは“つい数日前”の業況が反映されるため、経済の変動を逸早く察知するのに優れている。

(経済調査部 藤代 宏一)

資料 PMI生産・製造業生産(日本)



(備考) Thomson Reuters、Markitにより作成

## 編集後記

今年は桜前線の北上スピードが予想以上に速かったようだ。4月上旬は東京でもコートが必要なぐらい寒い日があったものの、その後は全国的にどんどん暖かくなり例年は4月中下旬に満開を迎える東北各県では1週間も早く開花、満開になったとのこと。また今年には北海道で4月に最高気温が30℃を超える真夏日を17年ぶりに記録している。おまけに5月11日時点で台風は既に7号とこれまた観測史上最速の発生ペースだ。春を楽しむ暇もなくいつのまにか夏模様だ。

春が短く貴重な季節になったのは何時頃からだろうか。以前は5月にクールビズスタートは早いと言う人もいたが今では大多数が違和感を感じない。春が短ければ秋も短い。四季と言うぐらいなんだからそれぞれ3ヶ月ずつあればいいのにと嘆いてみても地球は言うことを聞いてくれない。

天候が経済に与える影響は大きい。四季が穏やかにすぎていく時代は終わり、極端な天気が突然やってくる時代になった。異常気象が異常でなく普通のことになってきた。これまでの常識が通用しないことが増えていると思う。変化をしっかりと見極めていきたい。

(H.S)

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@dlri.dai-ichi-life.co.jpまでお寄せ下さい。

○本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。